



取付けで注意することは？

虎の巻

✧ 取付方式

最近の住宅用火災警報器は、ほとんどが天井と壁のどちらにでも取り付けられます。

共同住宅では、居住者の入退居時にクロスの張替えなども行われる場合があります、その点も考慮して機種の選定をするとよいでしょう。

天井に取り付ける場合



天井に設置する場合には、まず、取付ベースを本体からはずして取り付け、その後、本体を設置する必要があります。

どちらに取り付けてもいいよ。

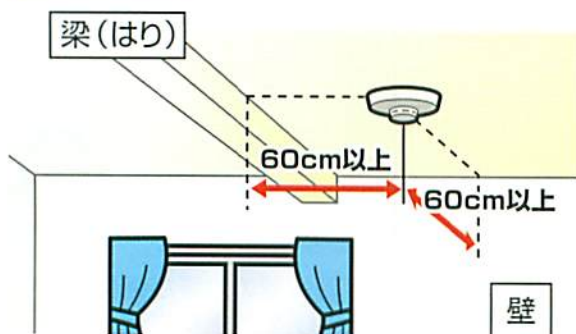


壁面に取り付ける場合

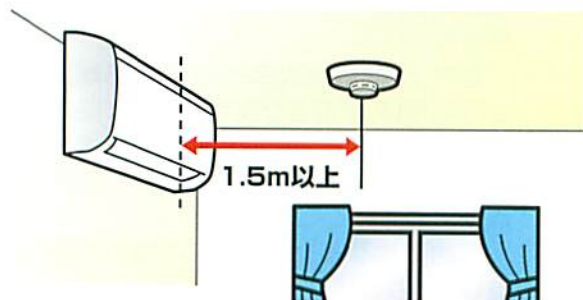


壁や柱に設置する場合には、天井と同様に取付ベースを取り付ける製品と、フックが付いていて、ネジくぎやくぎで、取り付けられるものもあります。

取付位置

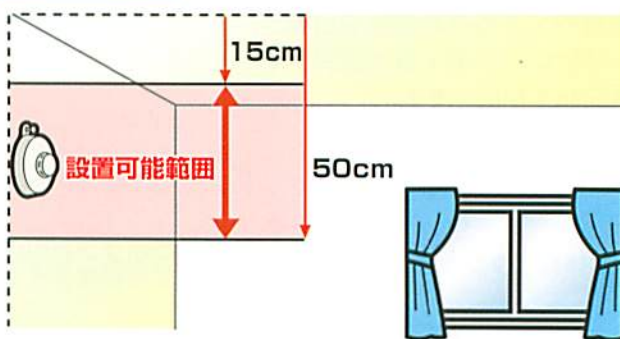


壁面・梁から**60cm以上**離す。



エアコンなどの吹き出し口から**1.5m以上**離す。

取付位置



住宅用火災警報器の感知部分の中心が、天井から**15～50cm以内**となるように取り付ける。

正しい場所に
取り付けよう！

